

伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

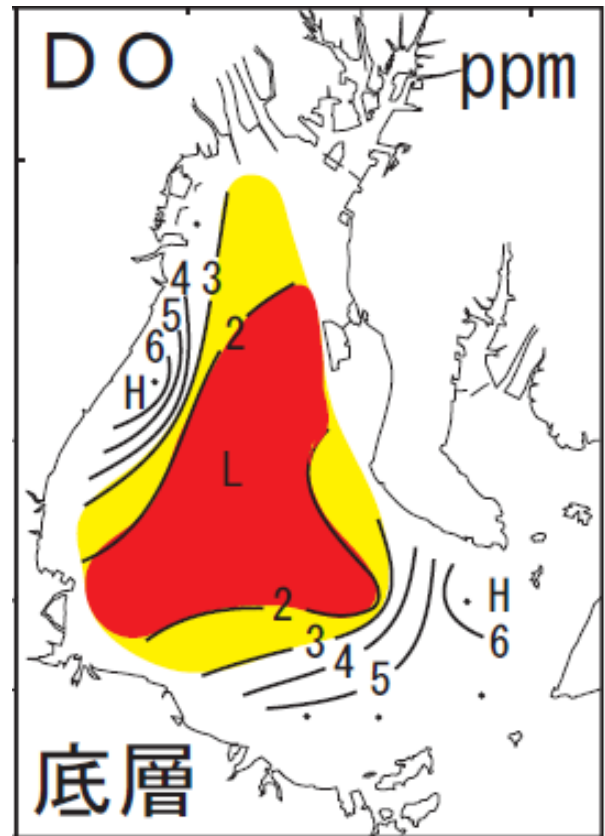
伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度の低下が始まり、湾中央部に 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

6 月 6 日の調査結果

6 月 6 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 19.9～21.0℃、10m で 18.0～19.7℃、底層で 15.2～19.2℃の範囲にあり、表層は平年並からやや低め、10m と底層では平年並からやや高めとなりました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.3～8.8ppm、10m で 4.7～7.7ppm、底層で 1.2～6.2ppm の範囲にあり、表層と底層は平年並からやや低め、10m では平年並であり、湾中央部の底層に 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されました。

今後水温の上昇などに伴って、底層の貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図